

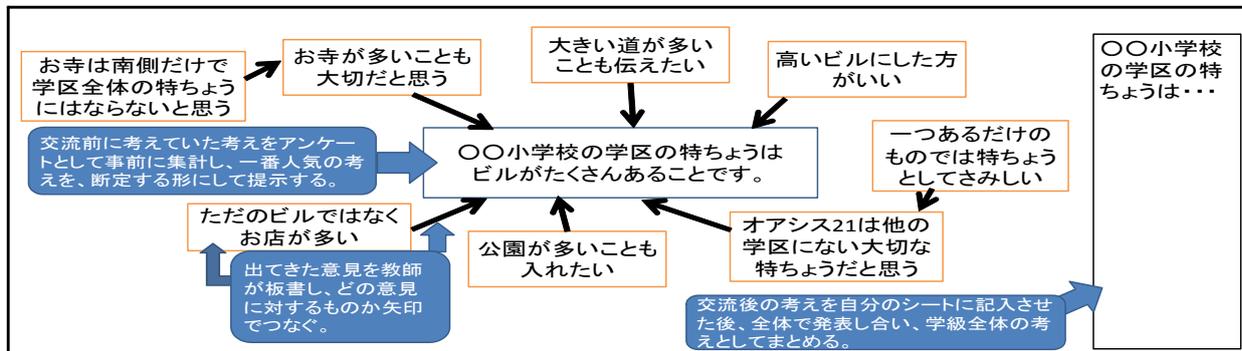
実践記録（小3・社会）

1 ねらい

友達との意見交流を通して、自分の考えを深めることができるようにする。

2 手立て

事前にとった児童へのアンケートを基に、黒板を用いて学級全体の意見交流を行う。



【黒板を用いた意見交流のイメージ図】

3 実践の様子

方面ごとに学区探検に出掛け、各方面の特色について学習した後に、学区のことを知らない人に紹介する学区全体の特色を考えようと児童に投げかけた。

そして、はじめの考えとして意見を書かせた後に、学区について学習する前に取っておいたアンケート結果で一位になっていた『ビルがたくさんあること』を黒板の中心に書き、これで良いかと尋ねた。

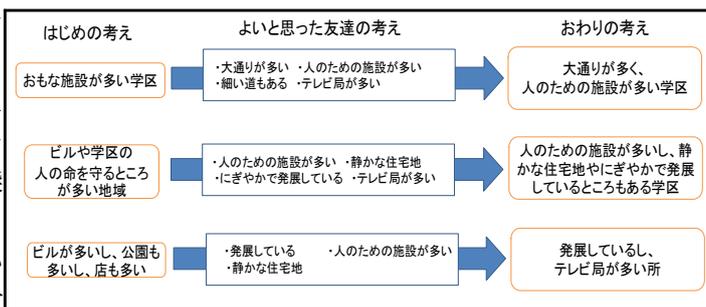
すると子どもたちは、「学区の南側はお寺が多かったよ。これは意外だったから大事な特色だと思う。」
「公園も多かった。これも知らない人に伝えるのには大事な特色だと思う。」
「でも公園は小さい物ばかりだった。大事な特色とまでは言えないのでは。」などと、すでに学んだ学区の方面ごとの特色を基に、学区全体を表す特色は何かということを考えていった。



【意見交流後の黒板の様子】

黒板全体を使った意見交流を行った後、改めて自分が考える学区の特色を書かせたところ、右のような考えの深まりが見られた。

そして、児童の意見を発表させていく中で、「学区全体を表す特色とは何か」「学区のことを知らない人が正しくイメージしやすいのはどのようなものだろうか」というような言葉を投げかけながら、最後のまとめを学級全体で再度考えていった。



【児童の考えの深まりの様子】

4 成果と課題

○ 黒板を用いて学級全体で意見交流をしたことで、学区の特色に関する多様な意見を全体で出すことができ、考えを深めることにつながった。

● 多くの意見は出てきたが、その意見の重要性を判断することが難しかった。交流を始める前に、学区の一部分だけの特色ではなく、学区全体を表す特色を考えるというねらいをしっかりと確認しておくことが必要だった。